

～開かれた議会を目指して～ 市民と議会の意見交換会



市民と議会の意見交換会
報告書

通算7回目となる「市民と議会の意見交換会」を、令和6年3月17日(日)午前と午後の2回、白石市中央公民館を会場に開催しました。

今回は、2つの常任委員会がそれぞれのテーマに沿って4つのグループに分かれてワークショップ形式により意見交換会を行いました。

のべ41人の市民の皆さまの参加により、多くの貴重なご意見をいただくことができました。

1班【防災・減災について】

- 空き家を避難所として利用する取り組みはできないか。



- 高齢者が増えているため、防災訓練のやり方を見直すべきではないか。
(車椅子の方等の避難訓練時の介助等の習得)

- そもそも避難所自体の安全性は担保されているのか。



- 水、食糧、石油の備蓄をさらに充実させてほしい。
- 災害発生時、避難活動における自治会長の権限を条例で定めてほしい。
- 河川や水路の体積物を除去してほしい。
- 河川管理に関して県と国との連携を密にしてほしい。
(市管理河川においてしゅんせつ工事が行われても、合流河口付近の本流河川水位が高ければ市管理河川の水が排水されず、さらには遡上し内水氾濫につながる)

- 耕作していない田んぼを遊水地にしてはどうか。



総務産業建設常任委員会
参加者からのご意見

2班【公共交通機関について】

市民バス「きゃっするくん」について

- 自宅から停留所まで遠い。
- 停留所まで行く手段がない。
- 郡部は本数が少ない。
- ちょうど良い時間帯での運行が少ない。
- 学生が通学に利用する目的がほとんどで、一般市民は利用しない。
- 風雨をしのげる停留所の設置。
- 旭町にもバスを通してほしい。
- セラビ白石以外のスーパーにも発着所がほしい。
- タクシーはバスに比べると料金が高く、通院頻度を減らさざるを得ない。



地域ボランティア送迎について

- 運転手の高齢化。
- 事故が起こった場合、保険以外のケア。
(主に運転手の精神面)

対策について

- 現在運行をしているタクシー会社に乗り合いタクシーの運営を委託することが本市に最もフィットし、全ての課題を解決する可能性がある。